

平成29年8月31日

災害対策マネジメントシステム 「中信防災アプリ“cocoro-e”」の導入について ～スマホアプリが命綱～

京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）では、役職員を対象にスマートフォン（以下スマホ）を利用した災害対策マネジメントシステム「中信防災アプリ“cocoro-e”」を、下記のとおり導入いたしますのでお知らせします。

記

1. 導入の目的

京都中央信用金庫は、大規模自然災害等の危機発生時にも、金融決済機能を担う社会的インフラとして、できる限りの業務継続や中断後の速やかな復旧を図ることで、地域のみなさまの生活や経済活動に貢献したいと考えています。

それには役職員の業務継続体制についての十分な心得が必要であり、もしもの時に、あわてず冷静に対処できるよう「中信防災アプリ」を導入することといたしました。

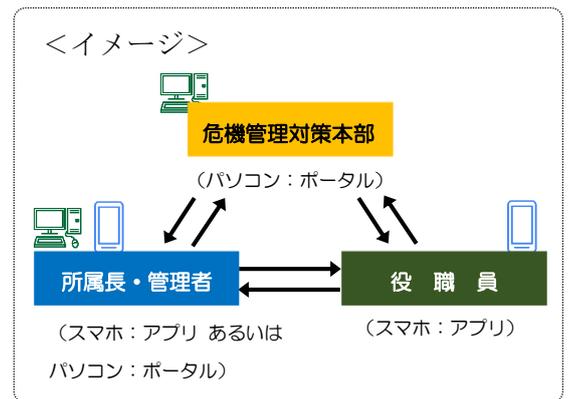
因みに役職員のスマホ保有率は約90%になっており、多くの職員が日常携帯するスマホで災害情報等の収集が可能な状態です。（スマホ非保有者には別途対応いたします。）

2. 主な内容等

「災害対策マネジメントシステム」について

- ①危機管理対策本部（パソコン：ポータル）
- ②役職員（スマホ：アプリ）
- ③所属長・管理者

（スマホ：アプリあるいはパソコン：ポータル）
の3者をインターネットでつなぎ、安否確認、被災状況やその他有効な情報を相互に発信・集約することにより適切な業務継続体制を構築・運営する。



<危機管理対策本部>

- 危機発生時には理事長を本部長とする「危機管理対策本部」を設置する。
- 危機管理対策本部は「中信防災アプリ」につながるポータルで、役職員への「お知らせ」を発信する。また、役職員から送られてくる安否情報や被害状況等をパソコンで集約し確認する。
- まさに、「スマホアプリが命綱」となり、運用の中で今後も内容の充実を図っていく。

< 役職員 >

- 手軽な操作で速報性ある豊富な防災・災害情報が入手できる。
- 「業務継続体制に係わる諸規程」や「緊急連絡先一覧表」、「危機発生時の行動フロー」等を「中信防災アプリ」内で閲覧可能とし、役職員が平時から危機発生時の心得を学ぶことができ、危機発生時には行動の指針となる。
- 地図情報との連動により、営業時間内外を問わず、外出時であっても最寄りの避難所・病院等、役立つ情報を得ることができる。
- 危機発生時の情報 [お客様の安否、役職員・家族の安否、店舗 (含ATM) と周辺の被災状況、交通事情等] を危機管理対策本部や所属長・管理者に報告できる。危機管理対策本部等からの「お知らせ」を受信できる。
- その他、平時でも交通運行状況・気象情報・防災マップ等、また、役職員・家族の安否確認等、「中信防災アプリ」を活用して多様な情報が網羅的に入手できる。

3. 愛称 : (ココロエ) について

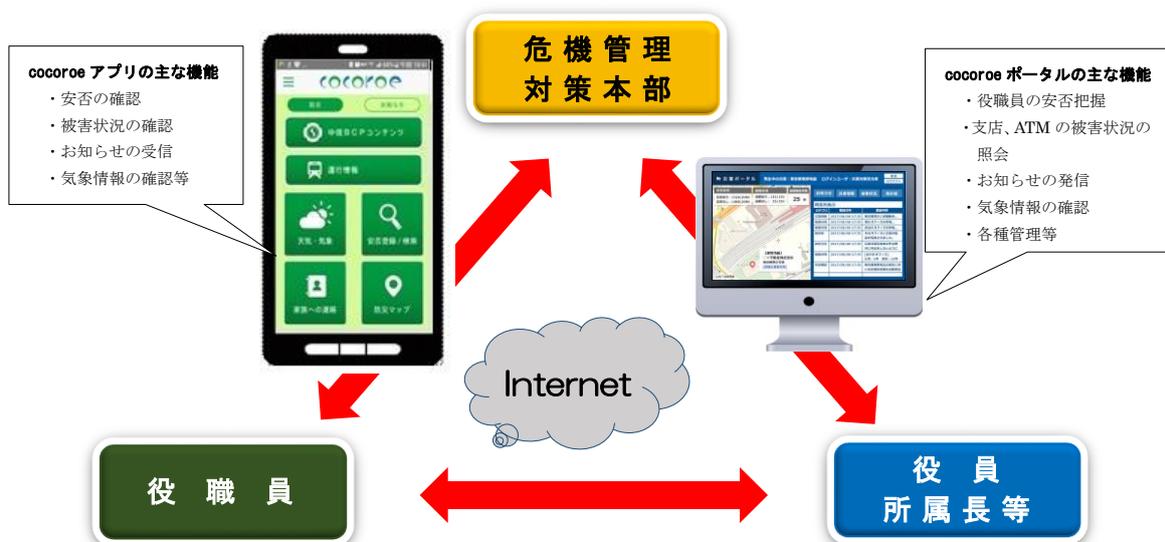
役職員の防災意識や業務継続体制への関心を高めるため、「中信防災アプリ」に愛称をつけ、cocoro-eとした。当金庫のシンボルカラーの緑と清潔でさわやかな青を基調とし、中信=Chushinの「C」をあてて表現した。

4. 開発会社

NTTレゾナント 株式会社

5. 利用開始日

2017年10月1日 (日)



以上

☆本件に関するお問い合わせは、下記TELまたはFAXまでお願い申し上げます。

○TEL 0120-201-959 または、075-694-2729

【平日 (当金庫休業日を除く) 9:00~17:00】

○FAX 0120-201-580

※フリーダイヤル (電話) は当金庫営業地区 (京都府および滋賀県、大阪府、奈良県) のみ可能です。